

Title	国内の雑誌等に発表されたスペイン語学に関する文献（1952-1988）（その2）
Author(s)	出口，厚実
Citation	大阪外国語大学論集. 2 p.53-p.82
Issue Date	1990-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79479
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

国内の雑誌等に発表されたスペイン語学に関する文献 (1952-1988) [その2]

出口 厚 実

*5 語 彙

- 406 花村哲夫 (1956) 「スペイン語の同族語について」—人文研究 12, p.33-48
- 407 近松洋男 (1958) The Germanic Influence Upon Spanish—京都外国語短期大学研究論叢 2, p.22-35
- 408 石綿敏雄 (1966) 「スペイン語の語い調査」—スペイン図書 13, p.13-22
- 409 中原俊夫 (1972) 「<Carmen>に用いられたスペイン語のことなど」—Études françaises 10, p.3-15
- 410 中山直次 (1975) 「‘Ahogarse’の言語地理学的考察」—駒沢大学外国語部論集 4, p.89-106
- 411 宮本博司 (1978) 「現代スペイン語における新語に関する一考察」—語学研究 14, p.63-73
- 412 伊藤光彦 (1979) Celtic loanwords in modern Spanish—雲雀野 (豊橋技術科学大学人文科学系紀要) 1, p.181-191
- 413 前田幸男 (1980) 「スペイン語の諺 そのリズムの構造化について」—亜細亜大学教養部紀要 21, p.131-147
- 414 宮本正美, Casado Velarde 他 (1981) 「半島スペイン語における隠語語彙に関する覚書(1)」—関西外国語大学研究論集 34, p.83-98
- 415 酒井優子 (1981) Expresiones de color en español—SOPHIA LINGUISTICA 8/9, p.85-93
- 416 高橋覚二 (1981) Diferencias semánticas de ‘llegar’ y ‘venir’—Lingüística Hispánica 4, p.119-134
- 417 酒井優子 (1982) 「スペイン語語彙論など」—海外言語学情報 1, p.309-320
- 418 高橋覚二 (1982) 「volverとregresarの差」—宮城昇教授還暦記念論文集, p.321-334
- 419 青木文夫 (1983) UN ANALISIS LEXICO DEL PARTICIPIO ADJETIVO DEL ESPAÑOL—SOPHIA LINGUISTICA 11, p.125-131
- 420 三好準之助 (1983) 「スペインの季節語」—京都産業大学国際言語科学研究所所報 4 (1), p.59-83
- 421 三好準之助 (1983) 「スペイン語の生物季節語—ことわざの場合」—京都産業大学論集12(4),

p.165-192

- 422 酒井優子(1983)「スペイン語における類推に基づく人間と動物の意味関係について」-HISPANICA 27,p.70-86
- 423 酒井優子(1983)「スペイン語語彙論」-海外言語学情報 2,p.197-205
- 424 Casado Velarde, Manuel Garrido Gallardo, Miguel Angel, 宮本正美(1984) Slang Used by Present-day Spanish Young People(2)-関西外国語大学研究論集 39,p.235-243
- 425 岸 大介(1986)「『情愛』をあらわすスペイン語の動詞, adorar, amar, apreciar, estimar, quererの意味について」-語学研究(神奈川大学外国語研究センター) 9,p.69-95
- 426 萩原 寛(1986)「いわゆる中性定冠詞 loの語彙論における位置」-語学研究(神奈川大学外国語研究センター) 9,p.29-68
- 427 佐藤邦彦(1988)「類義語と意味理論」-言語・文化研究 6,p.67-76

*6 計量・統計

- 428 出口厚実(1968)「主語人称代名詞の使用と省略について-動詞語尾との関連を中心とする頻度調査-」-Estudios Hispánicos 1,p.104-118
- 429 出口厚実(1984)「スペイン語における主語・動詞・目的語の語順に関する量的考察」-Estudios Hispánicos 10,p.1-18
- 430 福嶋教隆(1984)「イスパニア語接続法の頻度調査」-HISPANICA 28,p.32-48
- 431 上田博人(1984)「スペイン語演劇作品の言語学的分析(1)テキストおよび語索引」-東京外国語大学 p.1-357
- 432 出口厚実(1985)「現代スペイン語における語順タイプの多様性とその頻度(1)」-大阪外国語大学大学報 70,p.1-18
- 433 出口厚実(1985)「現代スペイン語における語順タイプの多様性とその頻度(2)」-大阪外国語大学大学報 71,p.1-11
- 434 上田博人(1985)「スペイン語演劇作品の言語学的分析(2)機能語のコンコードダンス」-東京外国語大学 p.1-368
- 435 上田博人(1985) Un ensayo sobre la constitución cuantitativa del léxico español -Lingüística Hispánica 8,p.83-102
- 436 出口厚実(1986)「現代スペイン語における語順タイプの多様性とその頻度(3)」-大阪外国語大学学報 72,p.1-16
- 437 宮本正美(1986) Lista de las palabras que salen en «El habla de la Ciudad de Madrid»(1)-Lingüística Hispánica 9,p.59-94
- 438 出口厚実(1987)「現代口語体スペイン語における音節パタンの数量的処理について」-外国語研究と言語情報処理-西洋語と日本語の接点-, p.83-152

- 439 出口厚実 (1987) 「音節パタンの種類と頻度：現代スペイン語の音節・音韻に関する数量的研究(1)」—Estudios Hispánicos 13, p.51—68
- 440 宮本正美 (1987) Lista de las palabras que salen en 'El habla de la Ciudad de Madrid' (2) —Lingüística Hispánica 10, p.77—120
- 441 上田博人 (1987) 「資料集：スペイン語の語彙の頻度と広がり」—東京外国語大学語学研究所 p.1—453
- 442 上田博人 (1987) Análisis lingüístico de obras teatrales españolas—(III)Textos e índice de palabras,—Facultad de Artes y Ciencias Universidad de Tokio, p.1—1149
- 443 瓜谷良平 (1987) 「現代スペイン語の動詞・接続法使用の統計調査—そのI インデックス、テキスト、ワードリスト」—語学研究 47/48, p.1—274
- 444 瓜谷良平・高橋敏夫 (1987) 「現代スペイン語の動詞・接続法使用の統計調査—そのII 実数による統計—」—語学研究 50, p.1—163
- 445 出口厚実 (1988) Variedad de las estructuras silábicas y sus frecuencias: Estudios cuantitativos sobre la sílaba y la fonología silábica del español contemporáneo(2) —Lingüística Hispánica 11, p.1—19
- 446 上田博人 (1988) Análisis lingüístico de obras teatrales españolas—(IV)Frecuencia de fonemas,—Facultad de Artes y Ciencias Universidad de Tokio, p.1—240

*7 歴史 (音韻)

- 447 吉田秀太郎 (1960) 「イスパニアにおける俗語ラテン語の音韻変化」—大阪外国語大学学報 8, p.17—35
- 448 近松洋男 (1961) Relación de los fonemas españoles con los fonemas visigóticos —京都外国語大学研究論叢 4, p.21—26
- 449 近松洋男 (1964) 「イスパニア語の起半母音現象」—言語研究45, p.39—64
- 450 秦 隆昌 (1964) 「イベリヤ半島北部における方言状態の歴史的変化—音韻に関して—」—HISPANICA 9, p.1—13
- 451 原 誠 (1967) 「近世におけるスペイン語歯擦音素の変遷について」—ロマンス語研究 1, p.15—22
- 452 原 誠 (1968) 「イベリヤ半島における俗ラテン語の音声分化(L)」ロマンス語研究 3, p.21—32
- 453 秦 隆昌 (1968) 「中世のイベリア半島北部における—CT—、—(U)LT—について」—愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編 3, p.37—54
- 454 原 誠 (1970) 「イベリヤ半島における俗ラテン語の音声分化(r)」東京外国語大学論集 20, p.1—10

- 455 秦 隆昌 (1970) 「中世の León および Zamora における $-óct-$, および $-act-$, $-ect-$ について」—ロマンス語研究 5, p.xx—xx
- 456 原 誠 (1971) 「スペイン語通時音韻論の一傾向」—言語研究 58, p.20—38
- 457 伊藤太吾 (1973) 「イスパニア語のラムブタキスムス」—大阪外国語大学学報 29, p.35—44
- 458 伊藤太吾 (1973) 「口蓋子音の生成についての考察」—Estudios Hispánicos 3, p.74—97
- 459 原 誠 (1974) 「スペイン語通時音韻論の諸問題」—ロマンス語研究 8/9, p.5—23
- 460 阿部三男 (1976) 「 $F > h$ とバスク基層説」—HISPANICA 20, p.18—35
- 461 高垣敏博 (1976) 「スペイン語歯擦音史」—STUDIUM 5, p.87—101
- 462 阿部三男 (1977) 「中世末期スペイン語における有声歯擦音素の無声化現象について」—東海大学紀要教養学部 8, p.105—118
- 463 秦 隆昌 (1977) 「スペイン語における $QU > k-$ と $C^{l,e} > \dot{c} > ts$ の音変化の時期比較について」—HISPANICA 21, p.1—16
- 464 高垣敏博 (1977) 「音節と音声変化—スペイン語の場合—」—STUDIUM 6, p.48—62
- 465 高垣敏博 (1979) A syllable-based approach to phonetic change in Spanish—Linguística Hispánica 2, p.123—144
- 466 高垣敏博 (1979) 「スペイン語の開音節化とラテン語音節音量」—HISPANICA 23, p.81—99
- 467 阿部三男 (1981) 「イベリヤ半島における有声化とケルト語基層説について」—ロマンス語研究 13/14, p.70—85
- 468 伊藤太吾 (1982) Un estudio sobre el mecanismo morfofonológico de los perfectos fuertes—Linguística Hispánica 5, p.85—106
- 469 阿部三男 (1983) 「古スペイン語における $apócope$ について」—スペイン語学研究 1, p.1—20
- 470 阿部三男 (1983) 「中部ピレネー山岳地帯におけるラテン語の母音間無声破裂音 p , t , k の保持について—バスク語基層説の問題点」—東海大学教養学部紀要 14, p.45—62
- 471 阿部三男 (1986) 「古スペイン語における語頭の $/s/$ の口蓋音化について」—東海大学教養学部 17, p.95—105
- 472 原 誠 (1987) 「スペイン語通時音韻論の二大問題(上)」—東京外国語大学論集 37, p.1—25
- 473 北村一親 (1987) 「スペイン語におけるラテン語 $CT[kt]$ の音変化」—名古屋大学言語学論集 3, p.103—140
- 474 阿部三男 (1988) 「再び $F > h$ とバスク基層説について」—HISPANICA 32, p.1—15
- 475 原 誠 (1988) 「スペイン語通時音韻論の二大問題(中)—通時音韻論の限界と展望」—東京外国語大学論集 38, p.35—58

＊7 歴史 (形態)

- 476 三原幸久 (1964) 「Jarya における代名詞と動詞の Archaism」—天理大学学報 16(1), p.121—135
- 477 新田 増 (1973) Morfología Verbal del 'Libro del Cevallero et del Escudero' de Don Juan Manuel—京都外国語大学研究論叢 14, p.88—110
- 478 新田 増 (1974) Morfología Verbal del 'Libro del Cevallero et del Escudero' de Don Juan Manuel—京都外国語大学研究論叢 15, p.28—54
- 479 伊藤太吾 (1977) 「スペイン語第3活用不規則動詞に生起するメタフォニーに関する歴史的考察」—大阪外国語大学学報 39, p.235—252
- 480 西川 喬 (1977) 「『La Celestina』における直説法未来の二形態の比較—その使用傾向について」—神戸市外国語大学論叢 28(2), p.55—80
- 481 近松洋男 (1979) 「トレス・ナアロのhaberの用法について」—京都外国語大学研究論叢 20, p.80—92
- 482 伊藤太吾 (1979) 「中世スペイン語の形態的特徴」—大阪外国語大学学報 45, p.33—58
- 483 伊藤太吾 (1982) 「強変化完了過去形のメカニズム」—Estudios Hispánicos 8, p.15—36
- 484 西川 喬 (1984) Sobre dos formas del futuro de indicativo en la Celestina—Lingüística Hispánica 7, p.55—92

＊7 歴史 (統語・意味)

- 485 中岡省治 (1961) 「Poema de Mio Cid 中の動詞について」—Más y Menos 21, p.22—29
- 486 秦 隆昌 (1963) 「ドン・キホーテ (第1部) における tú, vos, および Vuestra Merced の tratamiento について」—京都外国語大学研究論叢 5, p.11—31
- 487 中岡省治 (1965) 「Poema de Mio Cid の動詞—接続法を中心として—」—Más y Menos 23, p.26—40
- 488 中岡省治 (1972) Acusativo Personal(1)—Estudios Hispánicos 2, p.1—33
- 489 吉田彩子 (1975) 「Góngoraの構文の文法性—hipérbatonをめぐって」—SOPHIA LINGUISTICA 1, p.82—89
- 490 有吉俊二 (1976) 「スペイン語における弱形代名詞の位置—その史的変遷(1)—」—HISPANICA 20, P.1—17
- 491 有吉俊二 (1977) 「スペイン語における弱形代名詞の位置—その史的変遷(2)—」—HISPANICA 21, P.32—50
- 492 有吉俊二 (1978) Grammatical Oscillations in El Conde Lucanor—言語研究 74, p.107—113
- 493 有吉俊二 (1978) Some Grammatical Oscillations in Old Spanish—Lingüística

- Hispánica 1,p.26-53
- 494 有吉俊二（1978）THE DISTRIBUTION OF THE NEGATIVES IN POEMA DE MIO CID—熊本短大論集 58,p.119-143
- 495 伊藤太吾（1978）Unos problemas de la sintaxis histórica del español medieval—Estudios Hispánicos 1,p.95-117
- 496 高垣敏博（1978）Notes on Complement Structure in El Poema de Mío Cid—Lingüística Hispánica 1,p.226-244
- 497 江藤一郎（1979）「中世スペイン語における‘fue+自動詞の過去分詞’の時制について」—神奈川大学外国語研究センター語学研究 2,p.71-86
- 498 近松洋男（1980）「中世西語に於ける si 構文時制の変遷」—ロマンス語研究 12,p.6-21
- 499 石岡誠三（1980）「‘La ha fecho’ o ‘La ha fecha’—中世スペイン語の他動詞複合時制に於ける目的語と過去分詞の一致に関する考察—」—NIDABA 9,p.51-65
- 500 中岡省治（1980）「中世イスパニア語に於ける Gerundio の Periphrasis についての若干の考察」—大阪外国語大学学報 48,p.49-67
- 501 有吉俊二（1981）The diachronical Change of the Adverbial Suffix mente and the Noun mente in Old Spanish—ロマンス語研究 13-14,p.56-59
- 502 西川 喬（1981）「19世紀のスペイン語時制論に関する一考察—Vicente Salvá と Andrés Bello—（王政復古時代のイスパニア）」—外国語研究 12,p.69-110
- 503 岡村 一（1981）「中世スペイン語の間接疑問における接続法」—SOPHIA LINGUISTICA 8/9,p.66-73
- 504 江藤一郎（1982）「SER と ESTAR の機能分化の歴史—ESTAR+過去分詞を中心にして」—宮城昇教授還暦記念論文集 ,p.41-62
- 505 石岡誠三（1982）「中世スペイン語に於ける Personal Accusative ‘A’ と Leísmo について（13世紀、法律文書を中心とする研究序説）」—NIDABA 11,p.32-43
- 506 山村ひろみ（1982）「Cantar de mio Cid における現在完了形の用法」—宮城昇教授還暦記念論文集 ,p.393-410
- 507 有吉俊二（1983）「スペイン語否定構文史の変遷—側面の素描—」—外国文学研究 58,p.83-106
- 508 西川 喬（1983）「18世紀の Real Academia Española の文法における時制論(1)」—神戸市外国語大学論叢34(2),p.11-22
- 509 江藤一郎（1984）「中世スペイン語不定代名詞 ‘omne’ について」—天理大学学報 141,p.1-21
- 510 西川 喬（1984）「18世紀の Real Academia Española の文法における時制論(2)」—神戸市外国語大学論叢35(1),p.55-74
- 511 西川 喬（1985）「19世紀の Real Academia Española の文法における時制論」—神戸市

- 外国語大学論叢36(1),p.91-110
- 512 西川 喬 (1986) Estudios de tiempos verbales en las primeras gramáticas de la Real Academia Española—Lingüística Hispánica 9,p.155-178
- 513 西川 喬 (1986) 「20世紀の Real Academia Española における時制論(1)」—神戸市外国語大学論叢36(6),p.53-73
- 514 西川 喬 (1986) 「20世紀の Real Academia Española における時制論(2)」—神戸市外国語大学論叢 37 (1-3),p.207-227
- 515 西川 喬 (1988) 「スペイン語時制研究史 (1492-1870)」—神戸市外国語大学外国語研究研究叢書 ,p.1-238
- 516 西川 喬 (1988) 「スペインの一般文法研究における時制論の諸相(1)」—神戸市外国語大学論叢39:4 ,p.41-59
- 517 上野勝広 (1988) Uso de los verbos posesivos haber y tener en el español antiguo(1)—Historia de la especialización de sus funciones—スペイン語学研究3,p.121-138
- ＊7 歴史 (語彙・その他)
- 518 吉田秀太郎 (1958) 「イスパニア語における俗語ラテン語の語彙的考察」—HISPANICA 3, p.34-43
- 519 藤井 昇 (1961) 「ラテン語からイスパニア語へ」スペイン図書 5,p.1-11
- 520 堀井令以知 (1961) 「ドン・キホーテの言語法(一)」スペイン図書 5,p.28-30
- 521 石綿敏雄 (1963) 「AGORA から AHORA へ—黄金世紀における語い交代の一例」スペイン図書 7,p.15-18
- 522 秦 隆昌 (1966) 「13世紀の Provincia de León における方言境界線」—言語研究 49,p.37-76
- 523 山田善郎 (1968) 「イスパニア語—その構成要素に関する覚書」—Estudios Hispánicos 1, p.43-63
- 524 Cabezas, Antonio (1974) Rol de los infazones en la gestación del castellano (Jalones para una etiología del prelogía del proceso romanizante) —ロマンス語研究 8/9,p.54-71
- 525 Macadam, José P. (1976) LA LENGUA ESPAÑOLA EN INGLATERRA (hasta mediados del siglo X VII) —ロマンス語研究 10,p.95-108
- 526 伊藤太吾 (1979) 「いわゆる ‘proto-ibero-romance’ は本当に存在したか」—Estudios Hispánicos 6,p.33-54
- 527 原 誠 (1981) 「スペイン語の最古文献」—ロマンス語研究 13/14,p.117-125
- 528 新田 増 (1984) Búsqueda etimológica a través del vasco, latín y romance de tres topónimos de Navarra—京都外国語大学研究論叢 25,p.251-291

- 530 秋山紀一（1985） Una prueba de comentario lingüístico de Libro de Buen Amor—玉川大学文学部紀要「論叢」 26,p.181—211
- 531 太田強正（1985）「Glosas Silenses 研究Ⅱ」—神奈川大学人文研究 93,p.xx—xx
- 532 太田強正（1986）「Glosas Silenses 研究Ⅲ」—神奈川大学人文研究 96,p.23—59
- 533 太田強正（1988）「Glosas Emilianenses 研究Ⅰ」—ロマンス語研究 21,p.43—53

＊8 地域変異（半島・全般）

- 534 秦 隆昌（1973）「イスパニア語およびガリシア・ポルトガル語地域の言語地図」—ロマンス語研究 7,p.21—28
- 535 田中愛子（1974） Sur y Norte en los Fonemas Castellanos—清泉女子大学紀要 22,p.24—31
- 536 伊藤太吾（1979） ¿Qué es el andaluz?—Lingüística Hispánica 2,p.85—106
- 537 堀田英夫（1980）「アンダルシーア方言はカスティーリャ方言の subdialectoか？」—HISPANICA 24,p.65—80
- 538 高松朋子（1980） LA UNIDAD DE LA LENGUA ESPAÑOLA—HISPANICA 24,p.81—90
- 539 岩田圭子（1982）「Andalucía 地方における方言分化の考察」—宮城昇教授還暦記念論文集 ,p.137—154
- 540 渡辺愛子（1982）「アンダルシアの言語」—清泉女子大学紀要 30,p.73—83

＊8 地域変異（中南米）

- 541 花村哲夫（1954）「アメリカン・スパニッシュの特性(1)」—人文研究 8,p.29—47
- 542 花村哲夫（1955）「アメリカン・スパニッシュの特性(2)」—人文研究 10,p.95—104
- 543 原 誠（1959）「中南米のスペイン語(1): 中南米のスペイン語における substratum に関して」—HISPANICA 4/5,p.10—18
- 544 原 誠（1960）「中南米のスペイン語(2): 中南米のスペイン語とアンダルシーア方言との関係」—中南米経済研究 5,p.101—111
- 545 原 誠（1961）「中南米のスペイン語(3): yeísmo」—HISPANICA 6,p.26—40
- 546 山田善郎（1962）「メキシコに於けるイスパニア語雑感」—Más y Menos 22,p.2—10
- 547 瓜谷良平（1963）「エクアドル・スペイン語における冠詞の研究」—スペイン図書 7,p.13—15
- 548 原 誠（1964）「中南米のスペイン語(5): 中南米のスペイン語に特徴的な諸音声現象を音素論的に解釈する場合に生じる技術的問題点」—耕文 12,p.1—22
- 549 原 誠（1965）「中南米のスペイン語(4): 中南米のスペイン語(1)に対する補足」—HISPA-

- 549 原 誠 (1965) 「中南米のスペイン語(4): 中南米のスペイン語(1)に対する補足」-HISPANICA 10,p.27-36
- 550 秦 隆昌 (1965) 「中南米のイスパニア語-その紹介」-京都外国語大学研究論叢 7,p.65-74
- 551 瓜谷良平 (1965) 「米州スペイン語における‘voseo’について」-拓殖大学論集46/47,p.419-442
- 552 瓜谷良平 (1965) 「ラテンアメリカにおけるスペイン語」-海外事情 5 月,p.xx-xx
- 553 山田善郎 (1965) 「アメリカのイスパニア語(1)」-Más y Menos 23,p.10-22
- 554 原 誠 (1966) 「中南米のスペイン語(6): 中南米のスペイン語(3)への補足」-HISPANICA 11,p.42-57
- 555 高見英一 (1966) 「Huasipungoにおける特殊語法」-人文学49,p.22-37
- 556 寿里順平 (1967) 「イスパノアメリカにおけるVoseoの消長について」-スペイン図書 15,p.21-36
- 557 原 誠 (1969) 「中南米のスペイン語(7): メキシコ・シティーのスペイン語」-HISPANICA 14,p.20-35
- 558 原 誠 (1973) 「中南米のスペイン語(8): G.Salvadorの論文『アンダルシーヤ方言音声学とその社会的・地理的拡散』にちなんで」-HISPANICA 17,p.37-51
- 559 Rueda de León, Hector C. (1975) EL LENGUAJE MEXICANO A TRAVES DE RULFO -HISPANICA 19,p.1-24
- 560 堀田英夫 (1976) 「VOSEO と TUTEO」-HISPANICA 20,p.52-68
- 561 寺崎英樹 (1976) 「メキシコ・スペイン語の文法的特徴」-HISPANICA 20,p.36-51
- 562 浦和幹男 (1976) 「ラテンアメリカのスペイン語動詞をめぐる諸問題の再検討(1)」-拓殖大学論集 107,p.164-200
- 563 浦和幹男 (1976) 「ラテンアメリカのスペイン語動詞句に関する一考察」語学研究 9,p.61-100
- 564 三好準之助 (1977) 「ボゴタのスペイン語(餉)」-HISPANICA 21,p.51-64
- 565 浦和幹男 (1977) 「ラテンアメリカのスペイン語動詞をめぐる諸問題の再検討(2)」-拓殖大学論集 109,p.139-200
- 566 伊藤太吾 (1978) 「アメリカスペイン語の voseo の起源について」-Estudios Hispánicos 5,p.33-49
- 567 三好準之助 (1978) 「ボゴタのスペイン語(餉)」-HISPANICA 22,p.81-102
- 568 浦和幹男 (1978) 「ボゴタ平野の語彙地図」-語学研究 15,p.71-229
- 569 寺崎英樹 (1979) 「メキシコ・スペイン語の完了について」-人文研究 59,p.133-149
- 570 浦和幹男 (1979) 「コロンビアの話しことば」-立教大学ラテンアメリカ研究所報,p.8-12

- 571 浦和幹男（1979） *Algunas fórmulas de cortesía y otros usos en el español coloquial de Bogotá* (Colombia) —拓殖大学論集121, p.135—176
- 572 原 誠（1980）「中南米のスペイン語(9)：スペイン語の均一化と方言分化」—東京外国語大学論集 30, p.19—39
- 573 Ramo de Rasa, Alvaro（1980） *¿Existe un español mexicano?*—京都外国語大学研究論叢 21, p.123—132
- 574 浦和幹男（1980）「コロンビア農民の言語意識」—語学研究 24, p.19—54
- 575 原 誠（1981）「中南米のスペイン語(10)：Hara, 1973の部分的修正」—HISPANICA 25, p.16—30
- 576 浦和幹男（1981）「南アメリカのスペイン語における配偶者同士の呼称の問題をめぐって—ボゴタ（コロンビア）の事例を中心に—」—ラテンアメリカ研究所報 9, p.xx—xx
- 577 瓜谷良平他（1981）「イスパノアメリカにおける呼称に関する若干の考察」—研究年報（拓殖大学） 2, p.1—88/ 4, p.1—74
- 578 堀田英夫（1982）「メキシコ市口語スペイン語における接続法の用法について」—愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編 15, p.127—146
- 579 杉田智子（1982）「中南米のスペイン語における子音の発達の実態」—宮城昇教授還暦記念論文集 , p.303—320
- 580 寿里順平（1982）「『米州スペイン語』論の前提」—南欧文化 8, p.20—37
- 581 浦和幹男（1983）「アメリカ・スペイン語の基層言語に関する研究ノート」—拓殖大学論集 143, p.155—175
- 582 浅香武和（1983）「中南米スペイン語の諸相」—大阪府立貿専紀要 3, p.23—32
- 583 森本久夫（1983）「ペルーで目にした語彙と表現」—Estudios Hispánicos 9, p.55—74
- 584 浦和幹男（1984）「ルイス・フローレス博士 (Doctor don Luis Flórez) とコロンビア言語民族地図集 (ALEC)」—拓殖大学論集 149, p.527—608
- 585 佐々木克実（1985）「16世紀のメキシコスペイン語における動詞2人称複数形について」—HISPANICA 29, p.50—66
- 586 浦和幹男（1985）「(資料) ルイス・フローレス博士とコロンビアのスペイン語の発音に関する研究」—語学研究 43, p.1—133
- 587 浦和幹男（1985） *Muestra de hipocorísticos usuales en el español de Bogotá* (Colombia) —研究年報(拓殖大学)10, p.9—42
- 588 渡辺愛子（1985）「アメリカのカスティリャ語の形成—Lapesa と A. Alonso 論争を中心として」—清泉女子大学紀要 33, p.111—124
- 589 山下好孝（1985）「中南米スペイン語に於ける2人称代名詞について」—ロマンス語研究 18, p.149—158

- 590 原 誠 (1986) 「中南米のスペイン語(11): スペイン語の方言分化再考」－東京外国語大学
論集 36, p.15-32
- 591 原 誠 (1986) 「中南米のスペイン語(12): たるみと張り説再考」－HISPANICA 30, p.31
-49
- 592 原 誠 (1987) 「中南米のスペイン語(13): スペイン語における緊張性音と弛緩性音との対
立の相対性について」－HISPANICA 31, p.1-16
- 593 岸 大介 (1987) 「メキシコ・口語スペイン語における前置詞 ‘con’ の意味の研究」－
HISPANICA 31, p.191-195
- 594 森本久夫 (1987) 「メキシコで目にした語彙と表現」－Estudios Hispánicos 13, p.135-154
- 595 大林文彦 (1987) 「アルゼンチンのスペイン語に関する覚書(1)」－語学研究 (神奈川大学)
10, p.61-78
- 596 佐藤玖美子 (1987) 「アルゼンチン俗語における2人称単数 VOSEO に関する一考察」－
駒沢大学外国語部研究紀要 17, p.230-255
- 597 佐藤惣平 (1987) 「メキシコにおける文字 x の発音について」－横浜商大論集 21, p.107-
148
- 598 原 誠 (1988) 「中南米のスペイン語(14): 中南米のスペイン語におけるたるみと張り説再々
考」－HISPANICA 32, p.43-59
- 599 上野勝広 (1988) 「メキシコ・スペインにおける動詞 ‘chingar’ とその派生語について」
－言語・文化研究 6, p.9-16

*8 地域変異 (その他)

- 600 三原幸久 (1963) 「現代イスラエルにおけるユダヤ・イスパニア語の音韻」－天理大学学報
15(2), p.238-198
- 601 三原幸久 (1963) 「現代イスラエルにおけるユダヤ・イスパニア語の特徴－主として品詞論
と語彙を中心に」－HISPANICA 8, p.16-29
- 602 浦和幹男 (1967) 「フィリピンのスペイン語」－海外事情1967年5月号, p.44-51
- 603 堀田英夫 (1985) 「スペイン語圏の言語地図」－愛知県立大学創立二十周年記念論集 , p.757
-774
- 604 原 誠 (1987) 「スペイン語圏の言語地図」－『教育研究学内特別経費プロジェクトーロ
マンス諸語の言語地理学的研究』東京外国語大学 , p.33-42

*9 社会変異・言語接触

- 605 花村哲夫 (1952) 「英語とスペイン語との相互影響」－人文研究4, p.29-50
- 606 吉田秀太郎 (1957) 「イスパニア語に及ぼしたアラビア語の影響」－大阪外国語大学学報 5,

p.95-112

- 607 矢崎源九郎（1960）「日本語にはいったスペイン語(1)」—スペイン図書 1,p.19-20
- 608 三原幸久（1966）「キュラソーのイスパニア・クレオール方言パピアメントその歴史と文法—1—」—天理大学学報 17(1),p.127-153
- 609 雨宮 剛（1967）「米国に及ぼしたスペイン語の影響」—青山学院大学一般教養部会論集 8,p.93-101
- 610 中山直次（1972）「スペイン語の俗語における発音・形態およびシンタックスの傾向」—駒沢大学外国語部論集 1,p.68-76
- 611 佐藤徳潤（1979）Los elementos españoles en la lengua tagala(1)—HISPANICA 23,p.64-80
- 612 佐藤徳潤（1980）Los elementos españoles en la lengua tagala(2)—HISPANICA 24,p.91-105
- 613 佐藤徳潤（1980）「タガログ語におけるスペイン語形態変化」—愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編 13,p.157-173
- 614 浅香武和（1981）Un problema de lenguas en contacto: lusismos en Andalucía—Lingüística Hispánica 4,p.31-45
- 615 Millán, José Antonio（1981）El lenguaje coloquial: una interpretación—人文研究 79,p.75-99
- 616 Millán, José Antonio（1982）Varios aspectos del lenguaje coloquial y su importancia—人文研究 82,p.1-26
- 617 細川弘明（1983）「言語接触と共鳴効果」—人文研究 58,p.59-114
- 618 三好準之助（1984）「スペイン語彙におけるアラビズム」—ロマンス語研究 17,p.29-37
- 619 三好準之助（1984）「スペイン語彙のなかのアラビズムに関する移入機構の分析モデル」—京都産業大学国際言語化学研究所所報 5(2),p.12-3
- 620 佐々木克実（1985）「16世紀メキシコスペイン語におけるアメリカ原住民言語からの語彙について」—国際武道大学研究紀要 1,p.121-135
- 621 佐々木克実（1986）「17世紀及び18世紀のメキシコスペイン語におけるアメリカ原住民言語からの語彙について」—国際武道大学研究紀要 2,p.57-66

*10 対照（ロマンス語）

- 622 近松洋男（1959）「ラテン語と比較したスペイン・ポルトガル語動詞変化」—京都外国語大学研究論叢 3,p.81-89
- 623 中原俊夫（1962）Passereau, Pajaro, Passero—仏西伊単語の比較—Études françaises 2,p.43-54

- 624 中原俊夫 (1965) 「仏西両語における主要前置詞の用法上の相違点」—*Études françaises* 5, p.19—36
- 625 中原俊夫 (1967) 「カタロニア語の特色—フランス語・スペイン語との関連を中心として」—*Études françaises* 7, p.1—16
- 626 細川幸夫 (1972) 「ロマンス諸語に於ける助動詞に関する一考察」—駒沢大学外国語部紀要 1, p.7—25
- 627 原 誠 (1974) 「ロマンス諸語比較研究とスペイン語通時言語学とのくいちがい」—東京外国語大学論集 24, p.1—18
- 628 Rodrigues, Júlio (1974) Conservadorismo e progressismo nas línguas portuguesa e espanhola—ロマンス語研究 8/9, p.72—82
- 629 伊藤太吾 (1975) 「ロマンス諸語の多様性と均等性について—特にルーマニア語とスペイン語に関して」—大阪外国語大学学報 33, p.1—19
- 630 Casals Ferrer, Angel (1976) Estudios comparativos entre el castellano y el catalán(2)—ロマンス語研究 10, p.69—79
- 631 Wilkinson, Hugh E. (1976) Notes on the Development of —KJ—, —TJ— in Spanish and Portuguese —青山学院大学一般教養部会論集17, p.19—38
- 632 原 誠 (1981) 「ロマンス語学における二つのジレンマ」—東京外国語大学論集 31, p.1—30
- 633 阿部三男 (1982) 「ガロ・ロマンス語における音韻変化 Lat./u/>/ü—ケルト語基層説の問題点」—東海大学教養学部紀要 13, p.91—107
- 634 酒井優子 (1984) Moción de género: el género del español y del portugués en el léxico de la planta—*Lingüística Hispánica* 7, p.93—112
- 635 福寫教隆 (1986) 「ロマンス語のtough構文について—イスパニア語を中心に—」—ロマンス語研究19, p.61—70
- 636 酒井優子 (1986) 「性決定の要因(3)—植物語彙におけるスペイン語とイタリア語の性」—*SOPHIA LINGUISTICA* 20/21, p.411—420
- 637 伊藤太吾 (1987) 「スペイン語とルーマニア語の接続法について」—*Estudios Hispánicos* 13, p.69—99
- 638 寺崎英樹 (1987) Perfecto compuesto español en comparación con otras lenguas románicas—スペイン語学研究 2, p.65—80
- 639 酒井優子 (1988) 「性決定の要因(4)—植物語彙におけるスペイン語とフランス語の性」—*SOPHIA LINGUISTICA* 23/24, p.149—158

＊10 対照（日本語）

- 640 興津憲作（1967）「イスパニア語と日本語の相違－向き違いの言い方－について」－英知大学論叢 2,p.81－101
- 641 興津憲作（1969）「イスパニア語と日本語の比較研究(2)－受動態」－英知大学論叢 3,p.61－80
- 642 興津憲作（1970）「イスパニア語と日本語の比較研究(3)－接続法」－サビエンチア 4,p.91－111
- 643 興津憲作（1972）「イスパニア語と日本語の比較研究(4)－対応語の欠如・格違い・品詞の違い・異種概念の不当同居」－サビエンチア 6,p.81－98
- 644 大倉美和子（1972）「〔坊ちゃん〕における推量表現－〔う〕〔よう〕とそのスペイン語訳」－日本語・日本文化 3,p.102－133
- 645 大倉美和子（1976）「日西比較表現論」－国語シリーズ別冊4 日本語と日本語教育－文字・表現編－,p.69－88
- 646 大倉美和子（1976）「日本語・スペイン語音声の比較」－日本語教育のための日本語と主要外国語との音声の対照研究,p.93－127
- 647 大倉美和子（1977）「日西両語動詞『現在形』の用法をめぐって」－日本語・日本文化 6,p.125－136
- 648 上田博人（1977）Estudio Contrastivo de los Sonidos Españoles y Japoneses(1)－Vocales y semivocales－－LEXICON 6,p.xx－xx
- 649 Benavides, Juan Miguel（1979）Transferencia e interferencia entre japonés y español 語学研究 19,p.31－36
- 650 興津憲作（1979）「イスパニア語と日本語の比較研究(5)－語形が似ていて紛らわしい語」－サビエンチア 13,p.97－120
- 651 田村美代子（1979）Un estudio de los sonidos del español y el japonés: Problemas en la enseñanza de la pronunciación－長崎外国語短期大学論叢 22,p.55－80
- 652 蔭山昭子（1980）「格表現の対照－日本語とスペイン語の場合－」－日本語・日本文化 9,p.33－52
- 653 興津憲作（1980）「イスパニア語と日本語の比較研究(6)－語形は違うが内容が似ていて使い分けが問題になる語」－サビエンチア 14,p.113－143
- 654 田村美代子（1980）Un estudio de los problemas del español y el japonés: Problemas en la enseñanza－長崎外国語短期大学論叢 23,p.253－268
- 655 石崎優子（1981）「スペイン語と日本語における他動詞化と自動詞化」－SOPHIA LINGUISTICA 8/9,p.94－10
- 656 興津憲作（1981）「イスパニア語と日本語の比較研究(7)－西語が日本語から細分化して

- その区別が問題になる語」ーサビエンチア 15,p.107-121
- 657 倉重範子 (1982) 「スペイン語と日本語の母音の比較研究ー無声化・弛緩・消失についてー」
ー宮城昇教授還暦記念論文集 ,p.191-210
- 658 上田博人 (1982) 「日西語の呼称の比較ー話者、聞き手、関係について」ー東京外国語大学
論集 32,p.71-86
- 659 野田尚史 (1983) 「日本語とスペイン語の語順」ー大阪外国語大学学報 62,p.37-53
- 660 土屋博嗣 (1983) 「形容詞連用形のスペイン語訳に関して」ー亜細亜大学教養部紀要 28,p.
118-135
- 661 森本栄晴 (1984) El acento español y el acento japonésーSOPHIA LINGUISTICA 16,p.
10-17
- 662 本田誠二 (1985) 「日本語とスペイン語の叙法性に関するー考察」ー熊本商業大学論集 31
(1,2) ,p.687-708
- 663 河内千春 (1987) 「『はい、行きます』のスペイン語訳は？」ーJICA日本語研修 6,p.xx-
xx
- 664 吾郷成子 (1988) 「スペイン語の前置詞 a/de と日本語の格助詞『に』・『から』・『の』」
福岡YMCA日本語教育論文集 2,p.1-26
- 665 前田幸夫 (1988) 「日西ことわざ語順比較ーその形式と情報構造」ー語順研究 3,p.47-61
- 666 森本栄晴 (1988) Las cinco vocales castellanas y japonesas: Un análisis espectrográ-
ficoーSOPHIA LINGUISTICA 23/24,p.181-191

*10 対照 (英語・その他)

- 667 近松洋男 (1964) Las Consonantes Dobles Inglesas, Las Yodes Y Los Diptongos
Españolesー京都外国語大学研究論叢 6,p.22-38
- 668 森本林平 (1965) 「スペイン語の冠詞についてー特に二・三の外国語との比較においてー」
ーHISPANICA 10,p.12-26
- 669 近松洋男 (1967) Las Yodes Españolas Y su Comparación con las de los Demás Idiomas
ー京都外国語大学研究論叢 9,p.40-48
- 670 水谷 一 (1967) 「イスパニア語と英語の表現の比較」ーHISPANICA 12,p.44-56
- 671 園田守男 (1969) 「英語とスペイン語の比較ー冠詞について」ー長崎県立国際経済大学論集
2(4),p.115-130
- 672 田村すず子 (1975) 「諸言語の中の日本語ー語順について」ー早稲田大学語学教育研究所
『講座日本語教育』11,p.126-142
- 673 布施 温 (1970) 「スペイン語とアラビア語」ー愛知県立大学外国語学部紀要 5,p.47-62
- 674 布施 温 (1982) 「なぜアラビア語sinはスペイン語sに対応しなかったか」ー宮城昇教授

還暦記念論文集 ,p.63-80

- 675 福嶋教隆 (1984) On the Latin and Spanish passive—Proceedings of the Eighth Annual Meeting of the Kansai Linguistic Society, p.6-14
- 676 佐藤吉介 (1984) 「英・仏・西比較考（その1）」—実践英米文学 14, p.103-113
- 677 佐藤惣平 (1986) 「スペイン語の冠詞とその総称的特徴について—英語の冠詞との比較研究において」—横浜商科大学論集 19(2), p.52-78
- 678 Martinell Gifre, Emma (1988) El uso del artículo neutro lo en español y de sus equivalentes en inglés—Lingüística Hispánica 11, p.61-86
- 679 山下好孝 (1988) 「存在構文における普遍性について」—Kansai Linguistic Society 8, p.21-30

＊11 教育（概論）

- 680 小林英夫 (1963) 「スペイン語のなりたち」—スペイン図書 7, p.1-12
- 681 小林英夫 (1964) 「Menéndez Pidalとスペイン語学」—スペイン図書 9, p.1-7
- 682 原 誠 (1965) 「スペインにおけるスペイン語学の現状」—東京外国語大学語学研究所所報 6, p.10-20
- 683 原 誠 (1965) 「欧米のスペイン語学」—スペイン図書 12, p.3-17
- 684 原 誠 (1966) 「欧米のスペイン語学の現状」—東京外国語大学語学研究所所報 7, p.1-10
- 685 国沢慶一 (1968) 「イスパニア語およびイスパニア文学について」—Estudios Hispánicos 1, p.1-16
- 686 瓜谷良平 (1972) 「スペイン語概説」—海外事情 20(10), p.1-9
- 687 原 誠 (1975) 「スペイン語学のすすめ(1)」—南欧文化 2, p.63-73
- 688 原 誠 (1976) 「スペイン語学のすすめ(2)—スペイン語学とは何か？」—南欧文化 3, p.57-67
- 689 寿里順平 (1976) 「標準スペイン語と私」—人文論集 14, p.1-37
- 690 原 誠 (1977) 「スペイン語学のすすめ(3)—スペイン語音声学」—南欧文化 4, p.83-91
- 691 原 誠 (1978) 「スペイン語学のすすめ(4)—スペイン語音素論」—南欧文化 5, p.143-152
- 692 安井祐一 (1979) 「フィリピン国スペイン語学史序説—スペイン語教育復活の経緯とホセ・リサルの役割—」—HISPANICA 23, p.117-137
- 693 原 誠 (1980) 「スペイン語学のすすめ(5)—スペイン語通時音韻論」—南欧文化 6, p.130-140
- 694 原 誠 (1983) 「スペイン語学のすすめ(6)—スペイン語文法論」—南欧文化 9, p.191-200
- 695 原 誠 (1984) 「スペイン語学のすすめ(7)—スペイン語意味論」—南欧文化 10, p.34-49

- 696 原 誠 (1985) 「スペイン語学のすすめ(8)ー日本におけるスペイン語学研究の過去と現在と未来」ー南欧文化 11,p.45-62
- 697 江藤一郎 (1987) 「スペイン語史と言語学」ー外国語教育 13,p.1-14
- 698 江藤一郎 (1988) 「スペイン語史と言語学II」ー外国語教育 14,p.1-14

＊11 教育 (教授法)

- 699 上野政夫 (1965) 「第二外国語としてのイスパニア語の効用とそのカリキュラム」北九州大学教養部紀要 2(2),p.73-83
- 700 野村俊樹 (1966) 「商業スペイン語のカリキュラムー貿易実務的側面ー」ーHISPANICA 11,p.58-85
- 701 上野政夫 (1966) 「イスパニア語教授における言語学の適用(1)」ー北九州大学教養部紀要 3(1), p.43-58
- 702 上野政夫 (1967) 「イスパニア語教授における言語学の適用(2)」ー北九州大学教養部紀要 3(2), p.69-73
- 703 瓜谷良平 (1967) 「外国語教育と学習 (その1)」ー海外事情 (拓殖大学) 5月号 ,p.52-59
- 704 瓜谷良平 (1968) 「未来の大学における第二語学教育」ー海外事情 (拓殖大学) 11月号 ,p.16-23
- 705 野村俊樹 (1969) 「商業スペイン語のカリキュラムー語学的側面」ーHISPANICA 14,p.50-66
- 706 竹村英郎 (1969) 「イスパニア語L.L.授業の指向」ー天理大学学報20(4),p.231-245
- 707 原 誠 (1970) 「大学前期において使用するスペイン語教科書の内容はどうあるべきか」ー一橋論叢 63,p.756-773
- 708 大林多吉 (1970) 「大学における語学教育 [第二語学]」ー横浜商大論集 4(1),p.50-54
- 709 瓜谷良平 (1972) 「外国語教育と学習 (その2)」ー海外事情 (拓殖大学) 4月号 ,p.53-60
- 710 興津憲作 (1973) 「イスパニア語教育教材一覧表」ーサピエンチア (英知大学) 7,p.107-124
- 711 瓜谷良平 (1977) 「スペインの義務教育課程における国語教育とその問題点」ー海外事情 25(2),p.1-8
- 712 瓜谷良平 (1978) 「＜スペインにおける＞外国人のためのスペイン語講座」ー海外事情 26(2), p.1-8
- 713 上野政夫 (1979) 「大学における第2外国語教育の目標(1)」ー北九州大学外国学部紀要 39, p.1-12

- 714 上野政夫（1980）「大学における第2外国語教育の目標(2)」－北九州大学外国学部紀要 42, p.1-8
- 715 坂東省次（1981）「基礎スペイン語教科書私案」－京都外国語大学研究論叢 22, p.272-314
- 716 北村光世（1981）「スペイン語の教材と教授法」－HISPANICA 25, p.82-92
- 717 近藤 豊（1982）「報告・単語の指導ノート(前)－単語andarをめぐる」－外国語教育 8, p.26-39
- 718 原 誠（1985）「日本人学生にスペイン語発音を指導する際の技術的問題点」－AVEC ANNUAL REPORT 1, p.23-37
- 719 木村匡康（1986）「スペイン語側面音 l の音声的誤りとその矯正法」－SOPHIA LINGUISTICA 20/21, p.287-296
- 720 木村匡康（1986）「音調聴覚論に基づく外国語の発音指導」－語学研究（神奈川大学） 9, p.1-27
- 721 高橋寛二（1986）「スペイン語教育基本語彙について」－アカデミア文学・語学篇 41, p.89-127
- 722 高橋寛二（1987）「スペイン語教育基本語彙と語学力の関係」－アカデミア文学・語学篇 43, p.87-119
- 723 高橋寛二（1987）「効率的なスペイン語教育のための動詞体系」－HISPANICA 31, p.116-130
- 724 高橋寛二（1988）「日本人に苦手なスペイン語の表現－スペイン語の動的性格について」－アカデミア文学・語学篇 44, p.15-37
- 725 Vásquez Solano, Claudio Antonio (1988) La enseñanza del español como lengua extranjera.－関西外国語大学研究論集 47, p.105-115

＊12 その他

- 726 小林一宏（1968）「イスパニア語人名及び地名の仮名表記について」－上智大学外国語部論集 2, p.63-81
- 727 角田理三郎（1968）「イスパニアアカデミー設立に関する覚書」－Estudios Hispánicos 1, p.17-29
- 728 有吉俊二（1983）「ティルデ記号の機能」－ロマンス語研究 15/16, p.16-35
- 729 三原幸久（1984）「イスパニア・ラ・リオハ州アルネドの言語遊戯」－Estudios Hispánicos 10, p.63-90

＊13 翻訳

- 730 花村哲夫（1953）「『スペイン語Xの発音に就いて』D.L.ボリンガー著」－人文研究 6, p.

99-117

- 731 小林英夫 (1965) 「アマード・アロンソ著『言語学原論』に対する解説と批判」—スペイン図書 11, p.1-15
- 732 中岡省治 (1973) 「『Poema de Mio Cid』(1)」—Estudios Hispánicos 3, p.25-56
- 733 中岡省治 (1974) 「『国語問答』ホアン・デ・バルデス著(1)」—大阪外国語大学大学報 30, p.97-121
- 734 中岡省治 (1975) 「『Poema de Mio Cid』(2)」—大阪外国語大学学報 33, p.171-191
- 735 中岡省治 (1976) 「『国語問答』ホアン・デ・バルデス著(2)」—大阪外国語大学大学報 35, p.43-62
- 736 上野政夫 (1977) 「『標準スペイン語形機能表』ウィリアム・E・ブル著(1)」—北九州大学外国語学部紀要 32, p.15-38
- 737 上野政夫 (1977) 「『標準スペイン語形機能表』ウィリアム・E・ブル著(2)」—北九州大学外国語学部紀要 33, p.29-56
- 738 上野政夫 (1978) 「『スペイン語再帰動詞のシンタックス』Sandra S. Babcock著(1)」—北九州大学外国語学部紀要 35, p.27-49
- 739 中岡省治 (1979) 「『国語問答』ホアン・デ・バルデス著(3)」—Estudios Hispánicos 6, p.1-18
- 740 上野政夫 (1979) 「『スペイン語再帰動詞のシンタックス』Sandra S. Babcock著(2)」—北九州大学外国語学部紀要 37, p.1-26
- 741 中岡省治 (1980) 「Raimundo Ezquerro著『イスパニア語教育のための諸方法の分析』」—大阪外国語大学—視聴覚資料の外国語授業への有効な取入れ, p.77-96
- 742 有吉俊二 (1981) 「『イスパニア俗語文法第一書』(著者不詳)」—熊本商大論集 27(3), p.209-233
- 743 有吉俊二 (1981) 「『イスパニア俗語文法第二書』(著者不詳)」—熊本商大論集 28(1), p.147-183
- 744 三好準之助 (1982) 「ゲロルト・ヒルティ『13世紀のスペイン語事情』—京都産業大学国際言語科学研究所所報 3(1), p.48-108
- 745 中岡省治 (1982) 「『国語問答』ホアン・デ・バルデス著(4)」—大阪外国語大学大学報 56, p.85-101
- 746 中岡省治 (1983) 「『国語問答』ホアン・デ・バルデス著(5)」—大阪外国語大学大学報 59, p.89-106
- 747 中岡省治 (1983) 「『国語問答』ホアン・デ・バルデス著(6)」—大阪外国語大学大学報 62, p.95-114
- 748 中岡省治 (1983) 「『国語問答』ホアン・デ・バルデス著(7)」—Estudios Hispánicos 9, p.

17-40

- 749 中岡省治（1984）「『国語問答』 ホアン・デ・バルデス著(8)」-Estudios Hispánicos 10,p. 19-52
- 750 中岡省治（1985）「『カスティリア語文法』 Antonio de Nebrija著(1)」-大阪外国語大学大学報 70,p.87-105
- 751 中岡省治（1985）「『カスティリア語文法』 Antonio de Nebrija 著(2)」-Estudios Hispánicos 11,p.1-16
- 752 中岡省治（1986）「『カスティリア語文法』 Antonio de Nebrija著(3)」-大阪外国語大学大学報 72,p.103-124
- 753 西川 喬（1987）「『スペイン語の動詞における時制機能の分析』 アンドレス・ベリョ著」-外国学研究資料 38,p.1-88

＊14 書誌・文献目録

- 754 出口厚実（1976）「スペイン語変形生成文法関係文献リスト」-大阪外国語大学大学報 35,p. 153-177
- 755 原 誠（1980）「語学学習辞書-スペイン語」-言語Vol.9(5),p.36
- 756 渡辺和雄（1982）「参考文献案内-スペイン語の事(辞)典」-書誌索引展望 6(3),p.40-43
- 757 福寫教隆（1988）「Ignacio Bosque 博士の文法研究について」-HISPANICA 32,p.31-42

索引A [著者—文献番号]
(著者あいうえお—ABC順)

青木 文夫	188 200 202 373 387 419
秋山 紀一	44 47 192 225 229 333 336 530
吾郷 成子	664
浅香 武和	337 398 582 614
阿部 三男	58 62 63 460 462 467 469 470 471 474 633
雨宮 剛	609
有吉 俊二	119 135 185 186 203 212 223 230 263 328 362 368 490 491 492 493 494 501 507 728 742 743
石岡 誠三	237 243 371 499 505
石崎 優子	26 195 196 277 278 315 318 358 655
石綿 敏雄	408 521
伊藤 太吾	45 66 253 457 458 468 479 482 483 495 526 536 566 629 637
伊藤 文雄	89
伊藤 光彦	421
今津 藤一	50
岩田 圭子	539
上田 博人	81 82 92 93 97 98 100 108 129 301 312 361 396 431 434 435 441 442 446 648 658
上野 勝広	517 599
上野 政夫	38 699 701 702 713 714 736 737 738 740
浦和 幹男	134 159 160 562 563 565 568 570 571 574 576 581 584 586 587 602
瓜谷 良平	109 110 111 443 444 547 551 552 577 686 703 704 709 711 712
江沢 照美	207 350
江藤 一郎	128 347 381 497 504 509 697 698
大倉美和子	644 645 646 647
太田 強正	529 531 532 533
大林 多吉	708
大林 文彦	595
大森 洋子	246 385 395
岡村 一	91 503

国内の雑誌等に発表されたスペイン語学に関する文献（その2）

興津 憲作	640 641 642 643 650 653 656 710
萩原 寛	426
小野 茂	90
蔭山 昭子	652
片岡喜代子	374
加藤ナツ子	397
川上 茂信	68 71
河内 千春	663
橘川 慶二	222 227
岸 大介	425 593
北村 一親	473
北村 光世	716
木村 琢也	69 72
木村 匡康	719 720
国沢 慶一	685
倉重 範子	657
小池 和良	351 359 402
小泉 晶子	59
香野 早苗	378
小林 一宏	726
小林 英夫	680 681 731
近藤 豊	162 163 211 326 327 329 330 331 717
酒井 優子	60 61 65 94 95 102 103 105 106 385 395 403 404 405 415 417 422 423 634 636 639
佐々木克実	311 620 621 585
佐藤 邦彦	427
佐藤玖美子	114 115 116 117 118 121 124 125 596
佐藤 惣平	597 677
佐藤 徳潤	611 612 613
佐藤 吉介	676
塩田 洋子	334
柴若 佐枝	190
島岡 茂	2
杉田 智子	579

寿里 順平	556 580 689
鈴木 寛	332
角田理三郎	727
園田 守男	39 671
高垣 敏博	49 53 54 57 96 107 130 228 270 345 349 461 464 465 466 496
高橋 寛二	120 122 139 161 165 167 168 169 171 172 173 174 175 177 178 179 180 181 182 201 239 304 317 322 376 416 418 721 722 723 724
高橋 節子	346 353 354
高橋 敏夫	444
高松 朋子	538
高見 英一	555
竹村 英郎	706
田中 愛子	535
田村すず子	672
田村美代子	651 654
近松 洋男	28 32 34 407 448 449 481 498 622 667 669
土屋 博嗣	660
寺崎 英樹	191 199 206 213 217 240 287 360 365 561 569 638
出口 厚実	43 48 52 56 73 74 75 76 80 83 84 86 131 132 136 143 151 187 193 205 209 210 214 219 220 221 231 232 233 234 235 241 242 261 262 264 271 275 276 290 306 307 325 366 369 428 429 432 433 436 438 439 445 754
當作 靖彦	55 335
利光 和彦	355
中岡 省治	283 296 321 323 352 380 393 485 487 488 500 732 733 734 735 739 741 745 746 747 748 749 750 751 752
中原 俊夫	409 623 624 625
中山 直次	300 410 610
西川 喬	284 285 286 289 297 299 305 324 344 480 484 502 508 510 511 512 513 514 515 516 753
西田 千代	155
新田 増	477 478 528

国内の雑誌等に発表されたスペイン語学に関する文献（その2）

野田	忠行	164	166	176	183												
野田	尚史	659															
野村	俊樹	700	705														
秦	隆昌	450	453	455	463	486	522	534	550								
花村	哲夫	406	541	542	605	730											
原	誠	1	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
			17	18	19	20	21	22	23	24	25	27	29	30	31	33	35	
			36	37	40	46	67	88	184	194	208	216	236	267	295	303	314	
			357	451	452	454	456	459	472	475	527	543	544	545	548	549	554	
			557	558	572	575	590	591	592	598	604	627	632	682	683	684	687	
			688	690	691	693	694	695	696	707	718	755						
坂東	省次	99	101	104	123	127	218	224	388	715							
深沢	光代	279	280	382	389	399											
福崑	教隆	249	250	251	252	254	255	256	257	265	266	272	273	274	293	320	
			338	339	340	341	348	363	370	383	384	390	391	394	400	401	430	
			635	675	757													
藤井	昇	519															
布施	温	673	674														
星井	道夫	281															
細川	弘明	617															
細川	幸夫	626															
堀田	英夫	70	146	150	537	560	578	603									
堀井	令以知	520															
本田	誠二	662															
前田	幸男	288	291	292	294	364	413	665									
町田	俊昭	158	282														
三木	一郎	245															
水谷	一	670															
三原	健一	258															
三原	幸久	476	600	601	608	729											
宮本	博司	367	392	411													
宮本	正美	137	138	140	141	142	244	259	316	319	437	414	440				
三好	準之助	41	42	79	87	144	152	189	197	226	238	268	269	308	309	342	
			375	420	421	564	567	618	619	744								

森本 栄晴	64 661 666
森本 久夫	583 594
森本 林平	668
矢崎源九郎	607
安井 祐一	692
保川亜矢子	377
山口 忠志	145 157 204 372 379 386 397
山下 好孝	153 154 156 198 356 589 679
山田 善郎	247 298 523 546 553
山村ひろみ	310 506
吉田 彩子	489
吉田秀太郎	447 518 606
渡辺 愛子	540 588
渡辺 和雄	756
渡辺 節子	147 148 149
Arce, G.	78 126 260 302
Benavides, J.	51 85 649
Bosque, I.	170
Cabezas, A	248 524
Casado, V.	414 424
Casals Ferrer, A.	630
Macadam, J.	525
Martinell G.,E.	678
Mata, J.	215
Millán, J.	615 616
Montero, J.	112
Navarro, J.	343
Ramo de la Rasa, A.	573
Rodríguez, J.	113
Rodrigues, J.	628
Romero, R.N.	133
Rueda de León, H.	559
Vásquez S.,C.A.	313 725
Wilkinson, H.	77 631

索引B [キーワードー文献番号]

あ 行

アクセント	68
アスペクト	284 288 291 292 293 294 295 300
アラビア語	606 673 674
アルゼンチン	595 596
一致	325 499
意味	5 6 7 8 9 10 11 13 17 20 25 26 27 73 82 87 195 310 312 315 318 331 360 385 395 399 422 425 427 593 695
英語	605 670 671 677
音声	40 43 46 50 452 454 464 548 558 646 690 719
音節	44 45 47 54 57 62 63 69 72 438 439 464 466
音素	29 30 31 33 35 36 37 40 67 451 462 548 691

か 行

格	20 121 124 125 131 147 148 158 210 212 325 339 341 353 354 358 643 652 664
過去	283 286 287 296 303 483 696
過去分詞	325 497 499 504
関係	117 130 162 164 166 176 183 185 186 190 221 335 348 376 377 422 544 658 722 754
可能	253
完了	283 286 287 483 506 569
基層	460 467 470 474 581 633
教育	692 703 704 708 709 710 711 713 714 721 722 723 741
強勢	48 59 218
疑問	403 404 503
屈折	74
形態	76 88 98 105 106 110 282 480 482 610 613
形態音韻	76 105 106
形容詞	102 103 105 106 119 280 326 329 362 660
言語地図	534 603 604

現 在	285 506 647 696
現在分詞	355 381
口 語	438 578 593
呼 応	80 83 84 86
コロンビア	570 574 576 584 586
語 彙	95 414 417 423 426 441 518 568 583 594 601 618 619 620 621 636 639 721 722
語 学	1 3 431 434 627 632 681 682 683 684 687 688 690 691 692 693 694 695 696 697 698 701 702 704 705 708 722 731 755
語形成	81 92 93 97 100
語 順	190 199 206 429 432 433 436 659 665 672
語 尾	73 74 105 106 428
さ 行	
再 帰	208 209 210 211 212 214 217 218 221 224 227 235 241 242 244 738 740
子 音	32 58 60 61 65 67 69 72 458 579
使 役	138 140 348 353
指 示	119 152
修 飾	27 374
主 格	121 124 125 210
主 語	132 136 142 184 187 190 191 201 206 428 429
主 題	189
照 応	114 310
所 有	119 362
示小辞	87
時 制	278 290 295 297 298 299 307 310 497 498 499 502 508 510 511 513 514 515 516 753
自動詞	241 339 341 497 655
弱 形	135 138 142 490 491
従 属	270 380
重母音	28 34 50
述 語	335 402
受 動	209 213 221 241 245 284 291 318 342 344 641

国内の雑誌等に発表されたスペイン語学に関する文献（その2）

叙 法	251 264 271 275 276 662
数	75 115 123 438 439 444 585 596
性	90 94 95 100 426 636 639
節	257 266 274 276 280 335 370 380
接統詞	376
接統法	247 248 249 250 252 255 257 264 266 270 273 274 277 278 280 296 430 443 444 487 503 578 637 642
接尾辞	81 82 89 396
前置詞	158 159 160 161 162 163 164 165 166 168 169 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 593 624 664
俗 語	447 518 596 610 742 743
た 行	
対 格	148
他動詞	499 655
代名詞	128 131 132 135 136 137 138 142 146 149 156 158 218 224 244 362 377 428 476 490 491 509 589
談 話	195 199
中 性	94 426
中 世	453 455 462 482 497 498 499 500 503 505 509
中南米	543 544 548 548 549 550 554 557 558 572 575 579 582 589 590 591 592 598
直説法	283 285 286 289 298 480
定冠詞	114 115 119 120 122 128 426
統 語	26 136 189 218 276 333 379 386 397
動 詞	74 76 80 83 84 86 98 138 142 143 162 163 164 166 176 183 190 208 211 214 241 255 288 292 294 298 301 309 310 326 327 329 330 331 333 336 339 341 346 347 351 352 353 361 425 428 429 443 444 476 479 485 487 497 499 562 563 565 585 599 622 626 647 655 655 723 738 740 753
な 行	
日本語	607 640 641 642 643 646 650 652 653 655 656 657 659 662 664 672

人 称	131 138 142 152 213 217 225 228 259 334 375 428 585 589 596
能 動	318
は 行	
派 生	82 102 103 105 106 599
発 音	70 586 597 610 718 720 730
半母音	34 35 449
否 定	251 275 507
非人称	213 217 225 228
頻 度	65 428 430 432 433 436 439 441
フィリピン	602 692
副 詞	326 329 374 380 396
複 数	75 115 585
不定冠詞	115
文 法	2 4 5 6 7 8 9 10 12 14 15 16 18 19 20 22 26 27 100 130 135 145 195 210 212 221 348 354 373 399 489 508 510 511 516 561 608 694 742 743 750 751 752 754 757
ペルー	583
方 言	450 522 537 539 544 558 572 590 608
補 語	161 351 402
母 音	28 34 35 41 42 49 50 105 449 470 657
ま 行	
未 来	289 307 311 312 480 696 704
無人称	259 334 375
名 詞	73 90 116 118 123 125 127 130 158 206 257 266 274 326 329 351 396
命 令	314 316 319
メキシコ	311 546 557 561 569 578 585 593 594 597 599 620 621
目的語	429 499
や 行	
与 格	148 339 341

国内の雑誌等に発表されたスペイン語学に関する文献（その2）

ら 行

ラテンアメリカ …… 552 562 563 565

ラテン語 …… 95 447 452 454 466 470 473 518 519 622

わ 行

話 法 …… 398

(1990. 1. 8 受理)